

《参加者募集》

2018年2月～2018年11月開催(全10回)

第7期

# 社内広報担当者 交流会 議

## ◆開催主旨

企業におけるグローバル化の進展や雇用関係の変化等によって、今、社内広報の重要性がますます高まりつつあります。社内広報の代表的なツールである社内報も、印刷媒体全盛の時代からネットの時代へと変わり、その制作手法や考え方も大きく変わってきています。どうすれば効果的な社内報をつくり、目指す社内広報を実現できるのでしょうか。

本交流会議では様々な分野で活躍する実務家などから具体的な実践ノウハウを学び、自社の現状と照らし合わせながら意見交換を行います。また、設定した研究テーマについて情報交換・討議・研究し、研究した成果を共有化し、本音の情報・ノウハウの交換、そして総括討議を行います。多彩な講師陣との交流や異業種のメンバーの方々とのフランクな議論は、新たな発想や人脈作りのスキルという点でも今後の大きな財産になります。

さらに、第7期からは年間参加企業を対象に「社内報コンサルティング」をスタートします。編集者がもつべき視点や改善点をお伝えし、より学びを深めていただきたいと考えています。

開催にあたり上記の活動主旨にご賛同いただける意欲的かつ熱意あるメンバーの参加をご期待申し上げる次第です。

開催日	テーマ・講師
2018年 2月16日(金)	<p><b>「ビジネス伸長に貢献するインターナルコミュニケーション」</b></p> <p>1. 日本マクドナルドビジネス概要 2. 日本マクドナルドのインターナルコミュニケーションの特色 — 多種多様、多彩な Audience 3. Who/How/What のベストな組み合わせによるクロスメディア手法を通じた、戦略及びインターナルブランディングコミュニケーション 4. 課題</p> <p>【ゲスト】日本マクドナルド(株) インナーコミュニケーション部部长 高宮 次郎 氏</p>
3月23日(金)	<p><b>「ANAグループ社員が"自分ごと"化できる情報発信を目指して」</b></p> <p>1. ANA ホールディングスの概要 2. コーポレートブランド・CSR 推進部の設立と運営体制 3. ANA グループの社内・外情報発信媒体 4. 課題</p> <p>【ゲスト】ANA ホールディングス(株) コーポレートコミュニケーション室 コーポレートブランド・CSR 推進部アシスタントマネージャー 上原 夏来 氏</p>
4月20日(金)	<p>《ヤフー見学会》※満員の場合は年間参加者を優先とさせていただきますのでご了承下さい。</p> <p><b>「ヤフーが実践する"課題"ありきのインターナルコミュニケーション」</b></p> <p>1. ヤフーについて 2. ヤフーのコミュニケーション組織とビジョン・ミッション 3. 課題発見から始まるインターナルコミュニケーション(手法と効果測定も) 4. 事例紹介(20周年コミュニケーション) 5. 今後の課題・目指すこと</p> <p>【ゲスト】ヤフー(株) コーポレート統括本部コーポレートコミュニケーション本部 インターナルコミュニケーション室 宮原 淳治 氏</p>
5月18日(金)	<p><b>「社内広報講座」</b> ※資料は300ページにおよぶ永久保存版!</p> <p>編集者がなすべきことは何か。新配属や職場異動で社内広報を担当することになり、何をどう進めてよいかわからない。社内広報をある程度経験してきたが、このままでもいいのかと思案している。そのような方を対象に「社内広報講座」を実施します。社内広報の意義と役割を再確認し、社内広報業務の基本的な考え方を学ぶことでモチベーションアップにつなげていただければと思います。</p> <p>元 パナソニック(株) グローバルコミュニケーション推進総括部長 松枝 健夫 氏</p> <p>社内広報講座Ⅰ(基礎編)《14時～15時30分》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社内広報のルーツ(定義・目的)</li> <li>社内報制作の基本(情報収集、編集計画、取材、執筆、写真、見出し、レイアウト、校正、読者調査)</li> </ul> <p>社内広報講座Ⅱ(企画編集力編)《15時40分～17時》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社内広報の存在意義</li> <li>企画編集力とは</li> <li>行動を促す常設企画・特集企画</li> <li>経営方針に沿った社内報編集</li> </ul>

## ◆開催要領

《期間》2018年2月～2018年11月(全10回) 《日時》原則として毎月1回 14:00～17:00

12:30～13:30

### 1.社内報コンサルティング

(年間参加企業 / 先着順 / 1日1社限定)  
コーディネーターの松枝氏から  
貴社の社内報のアドバイス

14:00～15:30

### 2.ゲスト講演

ゲスト講演またはメンバー発表

15:40～17:00

### 3.グループ討議

グループに分かれて、各社の情報  
交換

17:00～

### 4.情報交換会

自由参加

〈敬称略〉

会場	企業研究会セミナールーム		
参加対象	広報部、総務部、企画部門などの方々		
コーディネーター	元パナソニック(株) グローバルコミュニケーション推進総括部長 【略歴】 1977年松下電器産業入社。国内家電営業、営業本部での新規市場開発に従事。1997年広報本部広報編集部にて松下グループ社内報季刊『松風』編集長。2002年社内報月刊『PaNa』創刊。初代編集長。グローバルコミュニケーション推進総括部長を経て2012年定年退職。現在歴史街道推進協議会理念普及事業講師。日本経団連社内広報センター代表幹事(2007年～2012年)、日本広報学会常任理事(2009年～2013年)。 *『松風』、そして『PaNa』は日本経団連社内広報センターの社内報審査で1969年の初応募から2012年まで連続44年間「日本経団連推薦社内報総合賞」に選定され表彰を受ける。	松枝 健夫	
幹事	アステラス製薬(株) 研究本部研究企画部企画管理グループ課長	芦沢 祐子	
	(株)リコー コーポレート統括本部コーポレートコミュニケーションセンター広報室	梅田 尚幸	
	(株)リクルートホールディングス 広報部グループ社内広報グループ	後藤 朋美	

## ◆全体討議又はグループ討議での例示テーマ

### 1. 社内広報の基礎

- 社内広報の役割
- 企業理念をいかに浸透させるか
- ビジョンの実践をいかに促進するか
  - どんな企画で
  - どんな媒体で
- 社内広報の定義、社内広報の具体的活動  
社内報の発行目的と編集方針
- 企画・編集の流れ、情報収集の仕組み
- 取材力・文章力・レイアウト・写真
- 最適な媒体フォーメーション  
電子媒体と印刷媒体

### 2. 企画編集力

- 企画会議について
  - やり方
  - 悩み
- 企画編集力を高めるには
  - 情報の付加価値創造について
  - デザインの重要性
  - 企画を通すには
- 行動を促す特集企画、常設企画
  - 企業風土を変える特集
  - 共感を呼ぶ企画
  - 役立つ企画
  - 気付きを促す企画
  - 警鐘を鳴らす企画
  - 家族にも感動を与える企画

### 3. WEB社内広報

- WEB社内広報の特長(迅速性、検索性、

関連性)

- イントラの構築、機能
- 情報収集、発信計画、発信基準、発信  
頻度、編集体制
- 媒体の特性と有効コンテンツ
- 最適な媒体のフォーメーション  
電子媒体と印刷媒体
- WEB社内報のレイアウトや注意点
- 非正規社員へのWeb対応
- 社内SNS

### 4. グローバル&グループ社内広報

- グループ報とは何か
  - 目的とコンテンツ
  - グループ報/分社報/事業場報との  
差異
- ブランディングと社内報
- グローバル&グループ報の役割
- グローバル&グループ報で共有すべき  
情報
- 多言語対応と配布・配信システム、編  
集体制
- 分社関係会社報とグローバル&グルー  
プ報の関係

### 5. 社内広報担当者の育成と効果測定

- 社内広報担当者の育成  
広報における育成ローテーション
- 編集長の役割、アウトソーシングの留  
意点
- 社内広報の効果測定と活かし方



### 6. 社内広報におけるクライシスマネジメント(危機管理)

- 各社社内報の震災対応発信
- 危機とは何か
- 危機の分類 自社にとって適切な分類
- 危機を乗り越えるために社内に徹底す  
べきこと
- 非常時こそ企業文化が問われる
- 禍を転じて福となす
- 個人情報について
- ソーシャルメディアと情報漏洩リスク
- プライバシーポリシーや情報セキュリ  
ティポリシーなどの基本方針

## ◆◆◆◆「社内報コンサルティング」の申込方法◆◆◆◆

◎対 象:年間参加企業(先着順/1日1社限定)

◎申込方法:雑誌・新聞型にご応募の場合、事前アンケートに必要事項をご記入の上、講評してほしい号(連続3号以内)を当研究会あてお送り下さい。

Web型(イントラネット社内報等)にご応募の場合は事前アンケートと全体トップ画面、特に講評してほしい記事の画面をCD-RまたはDVDでご送付下さい。(応募社内報はご返却しませんのであらかじめご了承下さい。提供いただいた社内紙誌および社内報データは講評の目的以外に使用しません)。

◎締 切:各例会の1ヶ月前必着

◎講 評:総評、企画、文章、レイアウト等の所見をレポートにまとめ、例会当日に直接お伝えします。

◎講 評 者:当交流会議コーディネーター 松枝 健夫氏

松枝氏は日本経団連推薦社内報審査委員(2003年~2005年)、経団連KANSAI社内広報カレッジ(2016年、2017年)等、これまで100社を超える社内報の講評実績があります。

◎応募費用:無料

### ◆前期(第6期)講師(2017年2月~11月)

ヤマト運輸、松枝 健夫氏、三井化学、ワコールホールディングス、西日本旅客鉄道、ブリヂストン、明治ホールディングス、大日本印刷、ベーリンガーインゲルハイムジャパン、高島屋

### ◆第1期~第6期参加企業

(敬称略 五十音順)

アイシン・エイ・ダブリュ	川崎重工業	ソニーフィナンシャルホール	日本ハム	ポリプラスチックス
アイシン精機	キトー	ディングス	日本紙パルプ商事	本田技研工業
アヴァシス	キリン	第一生命保険	日本触媒	丸井グループ
曙ブレーキ工業	京セラ	大成有楽不動産	日本GE	丸紅
旭硝子	協和発酵キリン	ダイセル	日本精機	マツダ
アサヒグループホールディングス	クラレ	武田薬品工業株	日本電気	三井化学
味の素	KDDI	竹中工務店	日本たばこ産業	三井化学東セロ
味の素コミュニケーションズ	KDDIまとめてオフィス	田辺三菱製薬	日本特殊陶業	三井・デュポンフロロケミカル
味の素物流	コープデリ生活協同組合連合会	中国電力	日本ヒューレット・パッカード	三井不動産
アステラス製薬	国分	中部電力	ノーリツ	三井物産
アマノ	コクヨ	TIS	ノバルティスファーマ	Mizkan Partners
アルプス電気	国連開発計画	DIC	野村総合研究所	Mizkan Holdings
アルプス薬品工業	サイバーエージェント	DTS	野村貿易	三菱化学エンジニアリング
イオン	サッポロホールディングス	TDモバイル	ハーゲンダッツジャパン	三菱ケミカルホールディングス
出光興産	三協立山	電源開発	バイエル薬品	三菱重工業
岩崎電気	サントリーホールディングス	デンソー	博報堂	みらかホールディングス
岩谷産業	CSKサービスウェア	電通パブリックリレーションズ	ハリマ化成グループ	明治ホールディングス
宇部興産	ジーフィット	電力中央研究所	阪急電鉄	メイテック
江崎グリコ	JNC	東京インキ	阪急阪神ホールディングス	森ビル
NOK	JVCケンウッド	東芝	バンダイ	森永製菓
NTTデータ	JFRオフィスサポート	東北電力	東日本電信電話	ヤマハ発動機
荏原製作所	シチズンセイミツ	東洋ゴム工業	日立化成	ヨロズ
王子ホールディングス	シチズンホールディングス	トクヤマ	日立キャピタル	ライオン
大阪ガス	清水建設	凸版印刷	日立ソリューションズ	リクルートコミュニケーションズ
岡村製作所	鈴木商館	豊田通商	日立ライフ	リクルートホールディングス
旺文社	スズケン	豊田中央研究所	広島ガス	リクルートマーケティングパー
オートバックスセブン	鈴与ホールディングス	トヨタファイナンス	ファイザー	トナース
オムロン	スタンレー電気	トヨタメディアサービス	ヒロセ	リコー
オリエンタルランド	住友商事	ナカシマプロペラ	富士電機	リコージャパン
オリオン機械	スリーエムジャパン	長瀬産業	藤森工業	リンクコーポレートコミュニケーションズ
オリンパス	セブン銀行	永谷園	プラネット	歴史街道推進協議会
花王	千趣会	ナプテスコ	ブリヂスト	ロート製薬
加賀電子	ソニー	西日本旅客鉄道	古河電気工業	YKK
カネカ	ソニーLSIデザイン	日清オイリオグループ	ポーラ	ワコールホールディングス
ガリバーインターナショナル	ソニーマーケティング	日東電工	堀場製作所	

## ◆年間プログラム (2018年2月～2018年11月)

第1回 例会 2/16(金)	第2回 例会 3/23(金)	第3回 例会 4/20(金)	第4回 例会 5/18(金)	第5回 例会 6/15(金)
第6回 例会 7/20(金)	第7回 例会 8/24(金)	第8回 例会 9/21(金)	第9回 例会 10/19(金)	第10回 例会 11/16(金)

## ◆参加要領

- ★法人会員企業は下記当会HPでご確認戴けます。
- ★分割支払い、代理参加等可能です。お気軽にご相談下さい。通信費・資料代等の一切を含みます。
- ★合宿研究会や例会終了後の懇親パーティの特別会合は別途実費となります。

### 《年間参加費》◆1名分の参加費で2名まで参加できます。

正会員：270,000円(本体価格：250,000円)  
 一般：302,400円(本体価格：280,000円)

### 《一日参加費》◆1名分 ※4/20(金)が満員の場合は、年間参加者を優先とさせていただきますのでご了承下さい。

正会員： 34,560円(本体価格：32,000円) × 回(受講希望日 )  
 一般： 37,800円(本体価格：35,000円) × 回(受講希望日 )

### 《お申込方法》◆下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。請求書をお送りいたします。

《申 込 先》一般社団法人企業研究会担当：村野 E-mail：murano@bri.or.jp  
 〒102-0083東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F  
 TEL：03-5215-3512 FAX：03-5215-0951～2 URL：https://www.bri.or.jp

## 第7期 社内広報担当者交流会議 申込書 FAX:03-5215-0951

会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。 申込日：\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

170147		第7期 社内広報担当者交流会議 申込書	
会社名	会社住所		
①氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
②氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
受講希望日	※1日単位での受講をご申し込みの方は希望日をご記入下さい。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社内広報 年目</li> <li>●社内報コンサルティング 有・無</li> <li>●入会動機</li> </ul>		

※申込書にご記入頂きました個人情報、交流会議に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。